

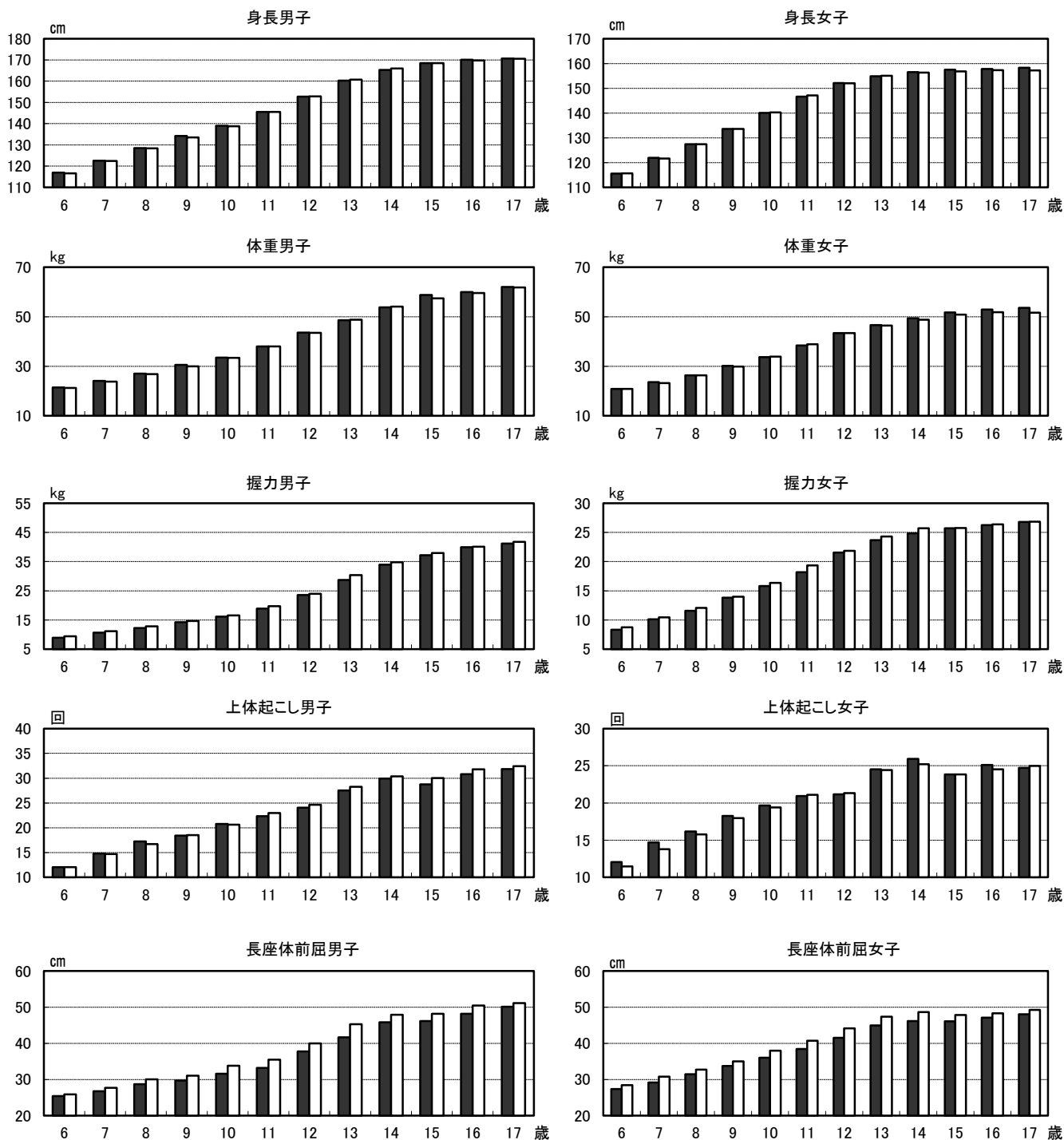
(6) 体格・体力の年齢推移（令和元年度京都府平均と平成30年度全国平均）

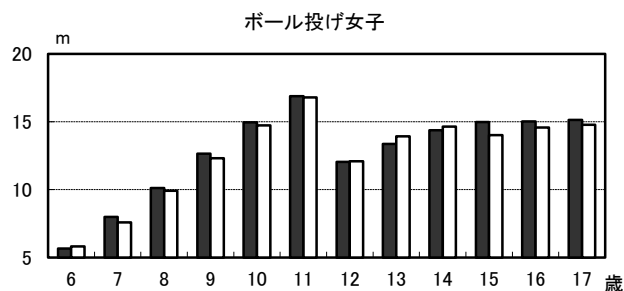
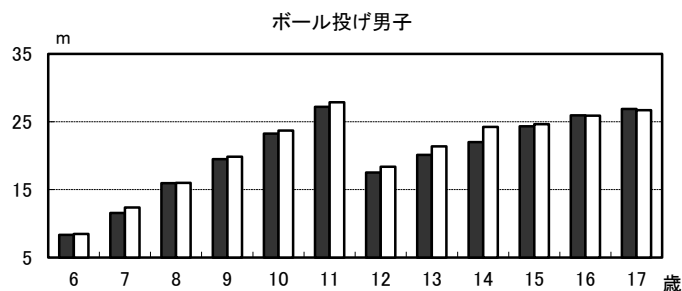
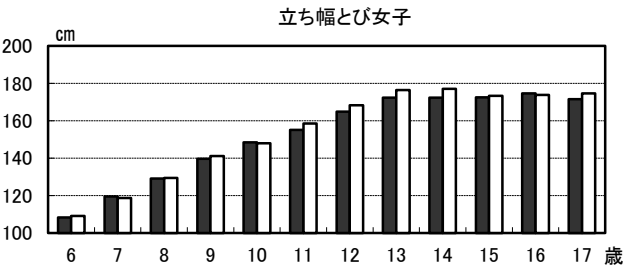
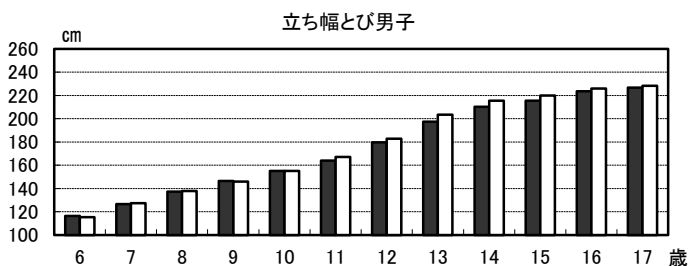
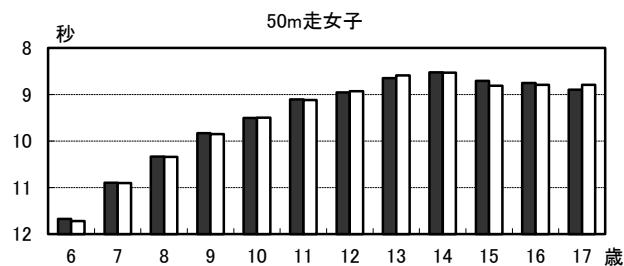
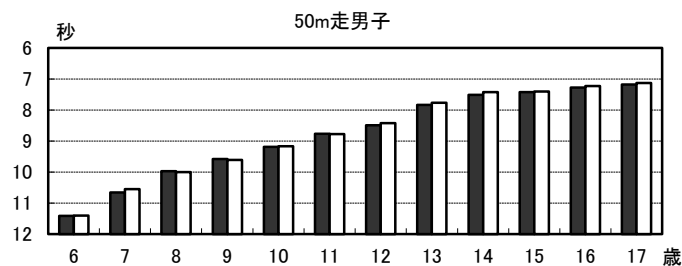
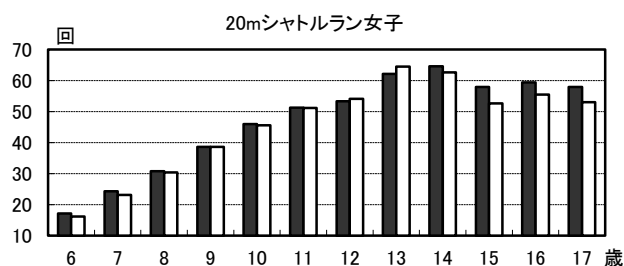
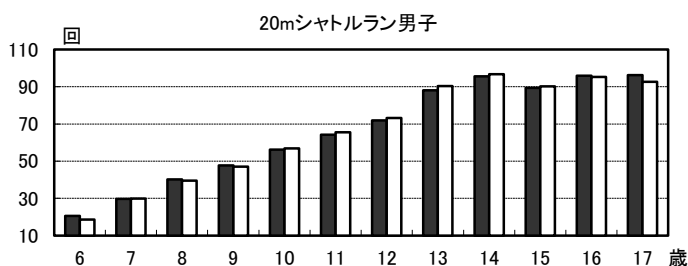
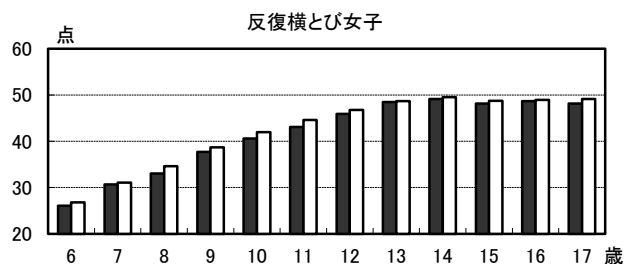
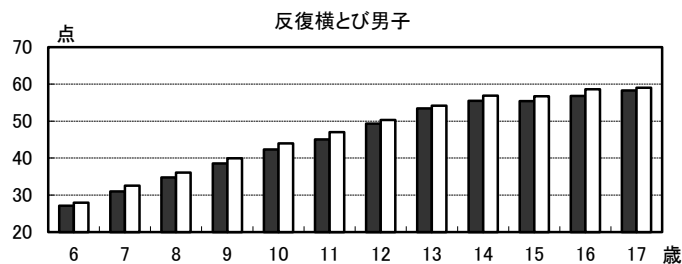
図6は、令和元年度京都府の体格・体力の平均値と平成30年度全国平均値の年齢推移を男女別に比較したものである。

男女とも6歳から加齢に伴い体力水準は向上し、男子は17歳頃にピークに達する。女子では概ね14歳頃にピークに達し、その水準を維持する傾向である。これは、全国平均値と同様の傾向である。

図6 年齢推移

■京都府平均値 □全国平均値





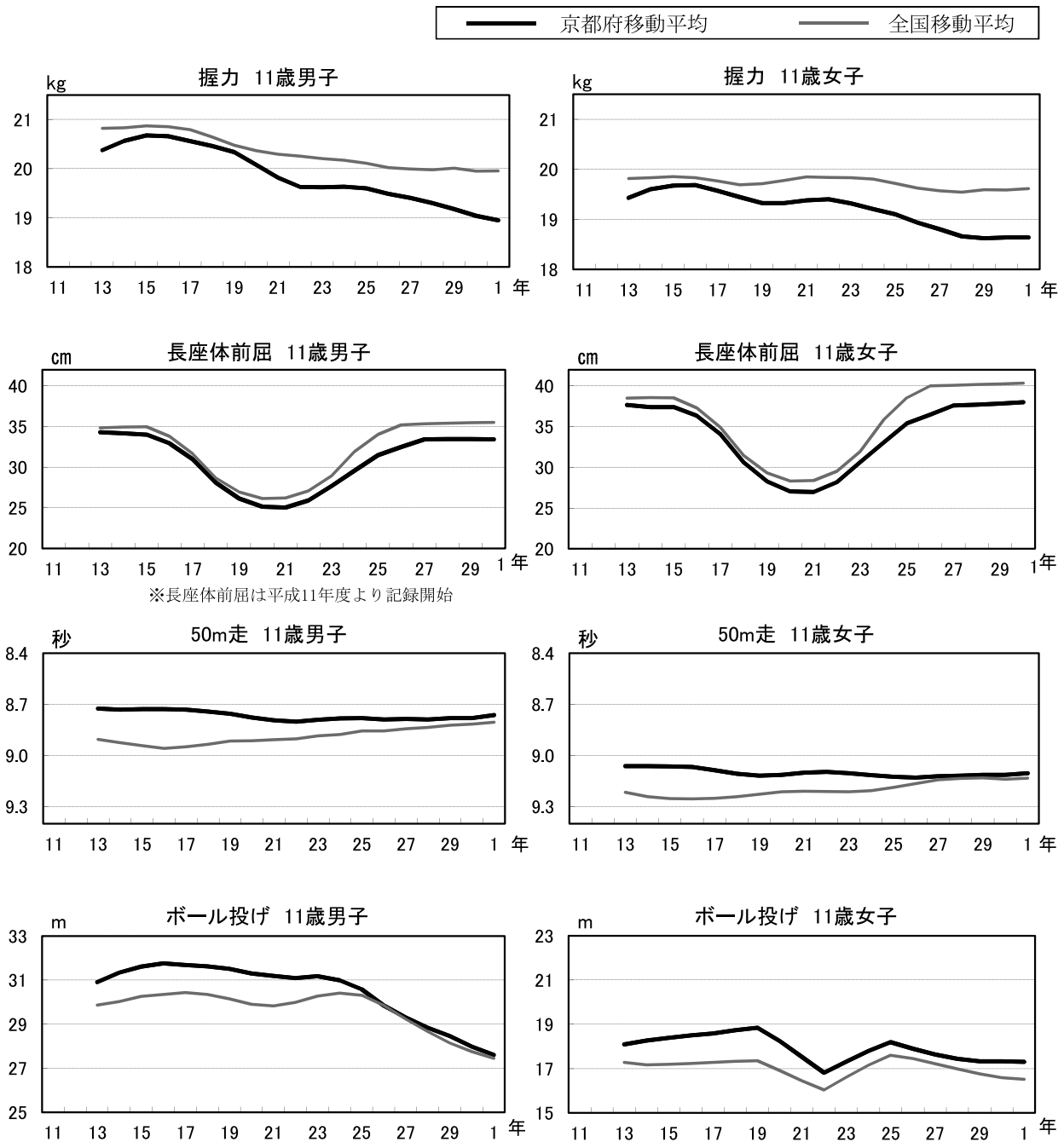
注 ボール投げについて 6歳～11歳（小学生）はソフトボール投げ
12歳～17歳（中高校生）はハンドボール投げ

(7) 握力(筋力)・長座体前屈(柔軟性)・50m走(走力)・ボール投げ(投力)の推移
 図7-1から図7-3はスポーツテストと新体力テストの同一種目(握力・長座体前屈・50m走・ボール投げ)について、京都府平均値と全国平均値をそれぞれ3点移動平均法を用いて平均値を平滑化し年次推移を示したものである。

3点移動平均：当該年度と前後の年度平均値を平均化したもの。
 例) 平成29年度の場合：(H28年度+H29年度+H30年度平均値)÷3

ア 小学校(11歳：6年生)
 「長座体前屈」で向上傾向であるが、男子「握力」「ボール投げ」の低下が著しく、課題改善に向けた取組が必要である。

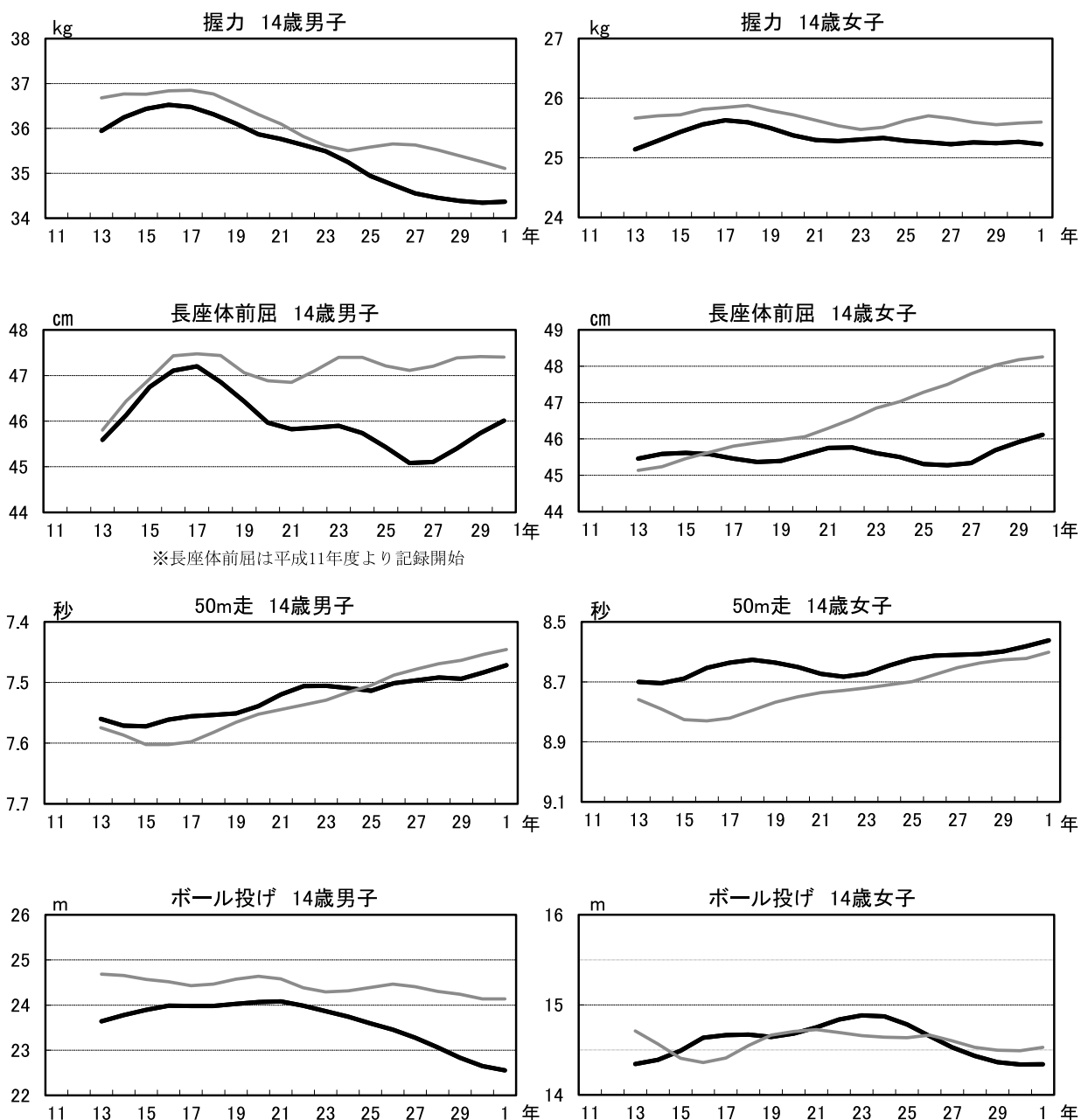
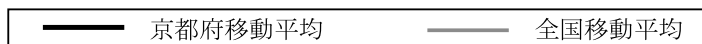
図7-1 小学生



イ 中学校14歳：3年生)

女子の50m走を除いた種目において、全国移動平均値を下回っている。特に、男子「握力」「ボール投げ」、男女「長座体前屈」においては全国移動平均値との差が大きく、課題解決に向けた取組が必要である。

図7-2 中学生



※長座体前屈は平成11年度より記録開始

ウ 高等学校（17歳：3年生）

女子「握力」「ボール投げ」において、全国移動平均値を上回っているが、男子「握力」「ボール投げ」の低下が著しく、課題解決に向けた取組が必要である。

図7-3 高校生

